

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第18期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第17期 第3四半期連結 累計期間	第18期 第3四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 9月30日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日
売上高 (千円)	3,778,356	4,470,136	5,197,102
経常利益 (千円)	667,122	607,598	264,088
四半期(当期)純利益 (千円)	403,598	445,378	188,643
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	454,789	469,412	275,599
純資産額 (千円)	3,795,284	3,993,420	3,616,093
総資産額 (千円)	5,159,511	5,529,949	5,747,880
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	8.50	9.70	4.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	73.6	72.2	62.9

回次	第17期 第3四半期連結 会計期間	第18期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成26年 7月1日 至 平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	1.74	3.36

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は、平成26年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は次のとおりであります。

<サイボウズスタートアップス株式会社>

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は当社が保有する株式の70%を売却したため、同社は連結子会社ではなくなりました。また、第2四半期連結会計期間において、サイボウズスタートアップス株式会社の増資により当社の持分比率が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

<タイムコンシェル株式会社>

当第3四半期連結会計期間において、タイムコンシェル株式会社の発行済株式の42%を取得したため、同社は持分法適用関連会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ後の個人消費等の落ち込みがやや長期化したものの、各種政策の効果を背景に企業収益や雇用状況に改善の兆しが見られる等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは引き続き、クラウド事業の拡大及びグループウェア製品の機能強化に注力しております。

クラウド型グループウェア「Garoon on cybozu.com」（以下、「Garoon.com」）においては、新たにスマートフォン専用画面を搭載し、急増するスマートフォン活用のニーズに応えております。それに加え、「Garoon.com」のスケジュール機能と業務アプリ構築クラウド「kintone」内のデータ連携を可能とするアップデートを行ったことで、業務支援システムとしてもより便利にお使いいただけるようになっております。

また、平成26年9月16日付でUS事業本部を新設いたしました。米国での事業拡大に機動的に対応できる体制の構築に加え、グローバルな販売体制をさらに強化してまいります。

このような状況下において、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が引き続き順調に積み上がり、連結売上高は4,470百万円（前年同期比18.3%増）となりました。営業利益については、売上高は増加したものの、従業員数の増加や広告宣伝活動への積極投資等により609百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益は607百万円（前年同期比8.9%減）となりました。四半期純利益は子会社株式の売却による関係会社株式売却益を計上したこと等から445百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

(2) 財政状態

第3四半期連結会計期間末の資産合計は、クラウドサービスへの投資によって、工具器具備品等の有形固定資産が91百万円増加し、ソフト開発等による繰延税金資産（固定）が78百万円増加するものの、未払賞与や未払法人税等及び配当金の支払いを行ったこと等により、現金及び預金が351百万円、繰延税金資産（流動）が157百万円の減少になったこと等から、前連結会計年度末に比べ217百万円減少し、5,529百万円となりました。

負債合計につきましては、未払賞与や未払法人税等の支払いを行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ595百万円減少し、1,536百万円となりました。

純資産合計につきましては、第3四半期連結累計期間に445百万円の四半期純利益を計上し、94百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し、3,993百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は182百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
計	193,428,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	52,757,800	-	613,810	-	976,765

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成26年6月30日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,879,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,877,500	458,775	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	52,757,800	-	-
総株主の議決権	-	458,775	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽 1丁目4番14号	6,879,400		6,879,400	13.04
計	-	6,879,400		6,879,400	13.04

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次の通りであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役副社長 兼 US事業本部長 兼 US事業支援部長	取締役副社長 兼 米国事業支援部長	山田 理	平成26年9月16日

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,571,300	3,219,439
受取手形及び売掛金	845,153	842,863
仕掛品	5,067	963
原材料及び貯蔵品	13,234	18,338
繰延税金資産	166,990	9,261
前払費用	45,265	79,909
その他	22,128	100,641
貸倒引当金	786	735
流動資産合計	4,668,354	4,270,680
固定資産		
有形固定資産	318,521	410,096
無形固定資産		
のれん	319	-
ソフトウェア	97,784	77,502
ソフトウェア仮勘定	17,000	48,303
その他	8,422	7,737
無形固定資産合計	123,527	133,543
投資その他の資産		
投資有価証券	210,027	216,623
敷金及び保証金	153,055	149,662
繰延税金資産	263,148	342,118
破産更生債権等	3,525	31
その他	12,304	7,549
貸倒引当金	4,583	356
投資その他の資産合計	637,476	715,628
固定資産合計	1,079,525	1,259,268
資産合計	5,747,880	5,529,949
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,733	9,683
未払金	490,664	313,204
未払費用	468,713	131,987
未払法人税等	244,437	5,145
前受金	826,778	976,028
役員賞与引当金	22,000	-
その他	70,459	100,479
流動負債合計	2,131,786	1,536,528
負債合計	2,131,786	1,536,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,734,581	4,087,874
自己株式	1,799,953	1,799,953
株主資本合計	3,525,204	3,878,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,697	9,102
為替換算調整勘定	80,191	105,820
その他の包括利益累計額合計	90,889	114,923
純資産合計	3,616,093	3,993,420
負債純資産合計	5,747,880	5,529,949

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,778,356	4,470,136
売上原価	321,572	403,862
売上総利益	3,456,783	4,066,274
販売費及び一般管理費		
人件費	1,352,608	1,504,477
業務委託費	100,307	201,601
貸倒引当金繰入額	25	812
広告宣伝費	400,779	748,570
のれん償却額	1,435	319
その他	914,417	1,002,985
販売費及び一般管理費合計	2,769,574	3,457,141
営業利益	687,209	609,133
営業外収益		
受取利息	1,309	1,164
受取配当金	202	206
受取手数料	1,457	1,583
還付消費税等	11,778	17,665
その他	1,886	4,699
営業外収益合計	16,633	25,318
営業外費用		
為替差損	33,626	19,200
自己株式取得費用	3,093	-
持分法による投資損失	-	7,649
その他	0	3
営業外費用合計	36,720	26,853
経常利益	667,122	607,598
特別利益		
関係会社株式売却益	-	32,024
特別利益合計	-	32,024
特別損失		
固定資産除売却損	2,680	799
寄付金	12,000	8,000
関係会社株式売却損	-	19,320
特別損失合計	14,680	28,119
税金等調整前四半期純利益	652,442	611,503
法人税、住民税及び事業税	303,703	86,579
法人税等調整額	54,860	79,544
法人税等合計	248,843	166,124
少数株主損益調整前四半期純利益	403,598	445,378
四半期純利益	403,598	445,378

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	403,598	445,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,863	1,595
為替換算調整勘定	46,326	25,628
その他の包括利益合計	51,190	24,033
四半期包括利益	454,789	469,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	454,789	469,412

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、サイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため連結の範囲から除いております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため持分法適用の範囲に含めておりましたが、第2四半期連結会計期間において、サイボウズスタートアップス株式会社の増資により当社の持分比率がさらに低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

第3四半期連結会計期間より、タイムコンシェル株式会社の発行済株式の42%を取得したため、同社は持分法適用関連会社となりました。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、翌連結会計年度に東京オフィスを移転することを決定いたしました。これにより、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更による影響は、軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	209,426千円	181,565千円
のれん償却額	1,435千円	319千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	122,802	256	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成25年6月25日の取締役会において決議された自己株式の取得を行い、この結果当第3四半期連結累計期間において自己株式が599,973千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,799,953千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成25年8月22日をもって、終了しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月26日 定時株主総会	普通株式	94,509	206	平成25年12月31日	平成26年3月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

当社グループは、グループウエアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益	8円50銭	9円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	403,598	445,378
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	403,598	445,378
普通株式の期中平均株式数(株)	47,460,487	45,878,400

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成26年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

サイボウズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。